

農作業特報

黒部市
黒部市農業技術会議

高品質で美味しい米づくりには、土づくりが不可欠です。
美味しい「黒部米」のために、土への愛情を込めて、
元気な土づくりをお願いします。



母なる大地に疲れが見えてきた！

「土づくり」は作物への効果がわかりにくく、省力化やコスト削減を優先し、ついついおろそかになりがちです。しかし、近年の土壌分析では、カリ・ケイ酸・鉄分の不足とともに、これらの不足が要因と思われる「ごま葉枯病」(写真1)の発生が目立ってきました。また、令和2年産コシヒカリに多く見られた「割粃」(写真2)は、ケイ酸の施用が少ないほど多く見られました。このような田んぼのSOSを見逃さず、早急に「土づくり」に取り組みましょう。

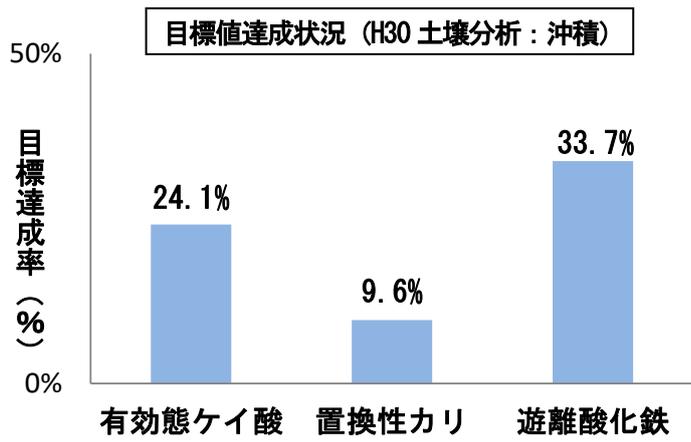


写真1 ごま葉枯病の病斑



写真2 割粃 (円内)

「元気な土づくりのポイント」

○ポイント1：土づくり資材の施用

土壌酸度の矯正や不足養分の補給として → ケイ酸質資材など土壌改良資材の施用

○ポイント2：有機物の施用

腐植含量の増加、物理性改善のため → 堆肥や発酵鶏糞などの有機物の施用
地力増進作物の活用

○ポイント3：深耕の実施

深耕等による根域の拡大と稲わらの腐熟促進のため → 秋耕と春耕の2回耕起
作土深15cm以上の確保

ポイント1：土づくり資材の施用

土づくり資材の施用で、葉や根を丈夫にし、病気や倒伏に強い稲を作りましょう。

資材名	資材の特徴	10a 当り施用量
粒状ケイカル	稲体を丈夫にし、倒伏やいもち病の抵抗性が増し、pH 矯正に効果がある資材(ケイ酸 30%、アルカリ分 45%、苦土 4%)	200kg
アサヒニューテツ	秋落ちしやすい砂質浅耕土等の鉄分補給と稲が吸収しやすい珪酸を同時施用する資材 (ケイ酸 20%、アルカリ分 30%、鉄分 16.8%、苦土 3.5%)	100kg
シリカロマン	土づくりに必要な成分を一度に施用できる複合資材 (ケイ酸 25%、アルカリ分 45%、鉄分*5.0%、苦土 7%、リン酸 5%)	100kg

※含有成分量%

ポイント2：有機物の施用

堆肥や発酵鶏糞の施用で地力を高めましょう。

堆肥の施用	秋施用の場合	春施用の場合
牛ふん堆肥	2 t	2 t
豚ふん堆肥	1 t	0.5~1 t
発酵鶏糞	乾田 150kg 半湿田 100kg	乾田 100kg 半湿田 75kg



- ・堆肥を散布した場合は、速やかに耕起作業を行いましょう。
- ・コシヒカリで春施用の場合は、基肥チツソを1~2kg減肥して下さい。
(基肥 206 では 10~15kg/10a、有機Jコトコヒカリ 3号では 5~10kg/10a の減肥)

ポイント3：深耕の実施

作土層が浅いと、根が十分に伸長できなくなり、気温や水分変化の影響を受けやすくなります。秋耕と春耕の2回掛けにより、稲わらの腐熟促進と作土深の確保に努めましょう。

○作土深 15cm以上を確保するための方法

- ・ロータリーによる秋耕と春耕との2回掛けやプラウ等を活用しましょう。
- ・春耕時はトラクターの速度を落とし、丁寧に深耕しましょう。

○稲わらの腐熟を促進し、田植後のワキを改善

- ・秋耕は気温の高い10月中に行い、稲わらを腐熟させましょう。
- ・長雨等で、ほ場がぬかるんで秋耕ができない場合は排水溝を設けて水はけを良くしましょう。



秋の土づくり運動実施中 9月15日~11月15日

JAくろべ営農センター TEL 52-5615
新川農林振興センター TEL 52-0945

JAくろべ南部営農支援センター TEL 54-5450
北部営農支援センター TEL 54-0040
東部営農支援センター TEL 65-7220